

ココカラ健康教室のご紹介

ココカラ健康教室のメニュー

1クール(3ヶ月)は12回開催となります。
メニューは以下の通りです。

- 初回効果測定 (紅野理学療法士)
- 終了時効果測定 (紅野理学療法士)
- PT による個別指導 (紅野理学療法士)
- 口腔教室 (大川・日吉歯科衛生士)
- 栄養教室 (藤井管理栄養士)
- 運動機能向上 (深水・若山)

※理学療法士・歯科衛生士・管理栄養士は外部に講師を依頼して実施しています。

利用対象者

基本チェックリスト (要支援者及び要介護者を除く、65歳以上の高齢者を対象に実施) の各項目で点数を満たした方

ココカラ健康教室は、沼津市から委託している事業で高齢者が現在の心(ココ)と身体(カラ)の状態を維持、向上を目的に開催しています。

1年間を3クールに分けて毎週火曜日に戸田デイサービスセンターで開催し、送迎も行っています。定員は20名となっています。

ココカラ健康教室では運動はもちろん栄養教室・口腔教室も実施しています。

運動機能向上では、ラジオ体操・バランス運動・筋力向上体操や身体を使ったゲームを楽しく行っています。また、自宅で簡単にできる体操なども紹介しています。

1クールごと初回と終了時に効果測定(筋力・バランス能力・柔軟性・俊敏性を測定)を行います。また、理学療法士による個別面談もあります。

栄養教室では食事健康法・食品の保存方法・管理方法の講習を行っています。口腔教室では健口体操や誤嚥を予防する食べ方についての講習を行っています。

ココカラ健康教室を利用されている皆様からは、外出することも多くなり、交流の機会も多くなったとの話があります。いつまでも沼津市戸田で生き生きとした生活が送れるようにと事業を行っています。

職員紹介

リーダー



深水 久美子

看護師



大橋 裕子

生活相談員



若山 純平

私たちがココカラ健康教室の担当職員です。皆様と笑顔で楽しく体操を行い、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。これからもよろしくお願ひします。

プログラムの様子

口腔教室



健口体操で誤嚥^{えん}予防

運動機能向上



体操をやって身体を鍛えます

栄養教室



勉強にも励んでいます

効果測定



今回の測定はどうか？

デイサービス だより

新企画「だよりコーナー」を新設しました。

今回は土肥・戸田デイサービスの行事の予定(10月～1月)を紹介します。土肥・戸田デイサービスでは季節に合わせた行事を行っています。ご利用者の皆さんお楽しみに…。

土肥デイサービス



昨年
の行事
の様子



1 12 11 10月
行事予定

10月／秋のゲーム大会
11月／寿司祭り
12月／クリスマス会
1月／おやつ作り

戸田デイサービス

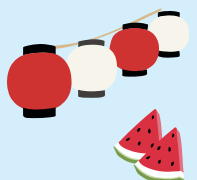


昨年
の行事
の様子



1 12 11 10月
行事予定

10月／運動会
11月／デイ寿司祭り 他
12月／クリスマス会・忘年会
1月／新年会 他



詳細は土肥ホーム
ホームページへ！



納涼祭の裏側も
配信中

土肥ホームの日々 検索

納涼祭実行委員長
新谷 裕生

大盛況の中、納涼祭が無事開催できたのも、地域の皆様のご協力があったこそです。職員一同感謝しております。ありがとうございました。

納涼祭当日は、ご利用者をはじめ、大勢の方がご来場され、イベントや模擬店を楽しんでいただきました。イベントでは、スイカ割りや、よさこいに職員が飛び入り参加をしました。模擬店では、新たなメニューに挑戦と、見ても食べても満足出来る納涼祭になりました。

7月30日土曜の16時50分から、今年も晴天の中、納涼祭を開催することができました。5月に実行委員会を立ち上げ、毎週打ち合わせを重ねました。7月12日には、地域のボランティアの代表者の方に集まっていただき、会場準備の手順や、プログラムなどについて、意見交換を行いました。その中で出た意見を盛り込みながら、準備を進めてきました。



納涼祭

質問① 介護（福祉）の仕事をするきっかけを教えてください。

私が中学生の時に曾祖母の在宅での看取りが、介護の仕事に携わるきっかけとなりました。脳梗塞を患い、半身が動かない状態でした。約20年前当時の私は大好きなひいばあちゃんに大変な事が起きてしまったんだと思いました。動けない体で寝ている曾祖母に「行つてきますよ。」「ただいま。」と声をかけるくらいしかできませんでした。当時は分かりませんでした。母や祖母が食事や排泄、体を拭いたりと言介護をしていました。91歳で亡くなりましたが、介護について専門的に勉強してみたいと思い、進路を決めました。

質問② 介護（福祉）の仕事をしていて良かった事はありますか？

ご利用者の笑顔が見られた時が一番ですが、時には喜怒哀楽を全面的に出して下さる時のかかわり方が、自分の力量を試されていると思います。失敗したり成功したり毎日違う表情や感情に向き合える事も貴重な事だと思えます。上手にかかわれない時にそっと間に入ってフォローしてくれるスタッフに感謝しています。

質問③ 土肥デイサービス、特養、ヘルプ、グループホームと多くの現場を経験してきましたが、介護に対する思いを教えてください。

介護は何よりも「チームケア」に尽きると思います。良い事も悪い事も全ての方がご利用者に繋がります。こころの健康にも配慮しながら介護の仕事を続けていきたいと思えます。



松本 弥生

菜の花ホーム

平成16年2月入社

資格にチャレンジ

今年の1月に介護福祉士の筆記試験があり、2月には筆記試験に合格した人の実技試験がありました。土肥ホームでは5名の職員が合格し、介護福祉士の資格を取得しました。

今回は介護福祉士とはどのような資格なのかを紹介したいと思えます。また試験に合格した職員の話も紹介したいと思います。

● 介護福祉士とは

専門的な知識や技術を持って、身体や精神の障害があることで、日常生活を送ることに支障がある方に心身の状況に応じた介護を行うことと、その方やその介護者に対して介護に関する助言を行う者をいいます。

「試験に合格して」

土肥デイサービス 金刺 文

私は、3年の実務経験を経て、今回介護福祉士の試験を受けよう決めました。試験を受けるにあたり、何をどのように勉強すれば良いのか全くわかりませんでした。参考書や過去問題集を購入し、自分なりに勉強していましたが、そんな時、上司が勉強会をしようと言ってくれました。勉強会では過去問題を解き、不正解だったところを詳細にわかりやすく解説してもらいました。いざ、試験会場に着くと緊張してしまいました。勉強会で学んだことが出題されていて安心しましたが、勉強格取得することができました。資格を取ることがゴールではなく、資格を取ってからのスタートだと思いました。援助をしていくなかで様々なことがありその都度、臨機応変に対応していかなければならないからです。まだまだ、学ぶことが多く不安もありますが、先輩スタッフに聞きながら援助に努めていきたいと思えます。



金刺 文

土肥デイサービス



長倉 真里萌

菜の花ホーム



浅賀 陽太

土肥デイサービス



小松 久子

戸田包括



山田 富江

菜の花ホーム



平成27年度事業報告

土肥・戸田地域における人口減少はご利用者の減少と同時に介護の担い手である人材確保の問題となっています。そのスピードは想像以上に急速に進んでいます。特養においては重度化、高齢化により退所者数や入院者数の増加、待機者の減少に現れており、在宅サービスご利用者の減少や軽度化にも現れています。また、職員の採用においても看護師、管理栄養士といった職種以外の職員の確保も困難となっています。

このような状況の中、特養・ショートステイの安定運営のため、ショートステイを増床し新規利用者の発掘を他地区まで広げ利用を積極的に推進し、特養待機者の確保にも努めました。また、グループホームにおいては戸田地区の方も利用ができる体制を整えました。

特養では、トイレの改修よりご利用者の生活環境の整備に努めました。また、ケアマネージャー、相談員の体制を見直し、充実を図りサービス向上に努めました。

土肥地区の在宅サービスでは、伊豆市の食の自立支援事業の要件変更等により、食事の確保に困る地域の方に対して試験的に自費の配食サービスを実施していたが、平成28年度より本格実施しています。

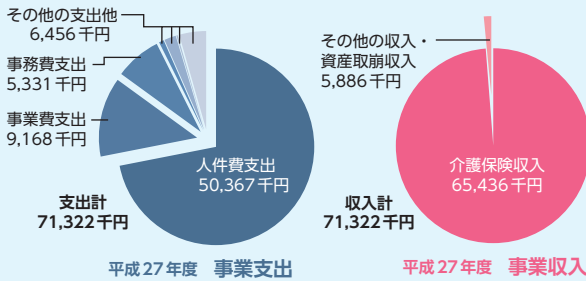
戸田デイサービスでは、ご利用者等ニーズに合わせて提供時間を選択できるようにしてきたことが、やっと成果が現れ長い提供時間帯の利用ニーズが増加しました。

このように今後もより一層、個別ケアの充実と地域ニーズの発掘を図り、多様化するニーズに対応できるサービス提供を目指してまいります。

今後もサービスの質の向上を目指し、皆様の期待と信頼に応えられるよう、事業運営を行なって参りますのでよろしくお願致します。

土肥ホーム施設長 センター長
戸田デイサービスセンター センター長
木下 高次

戸田デイサービス



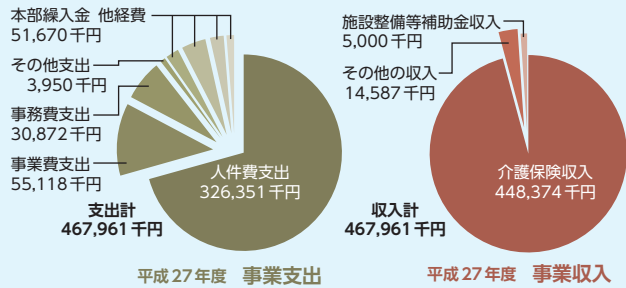
平成27年度のデイサービス利用者の軽度化が急速に進みつつある。サービス稼働に関しても、全体のサービス利用者における予防のご利用者の占める割合が増加傾向にある。サービス提供時間帯の長時間利用者も増加していることがサービスの増収にも影響した。

また配食サービスに関しては地域利用者のニーズにマッチングしたサービス提供を行っているため、安定した稼働数であった。

費用面では人件費において、適正な業務配分による人件費の貼り付けを目的とし、戸田デイサービス業務を兼務していた土肥ホーム事務員、調理員の人件費について、戸田デイサービスに適正配置させたことにより、人件費は昨年度決算と比較し増加した。

また老朽化固定資産においても、設備更新計画に則り、更新を実施した。

土肥ホーム・菜の花ホーム



平成27年度は、大幅な介護報酬単価改定の影響や伊豆市総合事業の施行により介護報酬の下落が予測されていた。しかし、人員配置や体制の見直しから介護サービス報酬の安定と短期入所事業の1ベッド増加など戦略的なサービス運営を行った結果、昨年度と同様の収入を確保することができた。支出の面では、人件費においては専門職の人員確保が困難であり、介護職員の処遇改善に関する手当額の増加など、厳しい現実はあるが効率的な人員配置を行い人件費の増加防止に努めた。また光熱水費のエコ活動による削減など自主的な成果による経費削減や他の経費についても見直しを行い経費削減に繋がった。

建物更新についても22年を経過し、入居者の生活環境の向上のため特養トイレスペースの改修、エアコン一部更新、落雷被害によるスプリンクラー自家発電機の交換、車両更新を行った。また今後の事業継続を目的とした中長期計画に基づく次期建物更新費用として施設整備積立金を積み立てた。

平成27年度

決算報告

(土肥ホーム) 苦情対応一覧 平成27年度

No.	受付日	申出人	種別	概要	想定原因	対応結果
1	平成27年6月16日	ご利用者家族	特養	①病院に突然呼ばれ、なんの説明もなしに話が始まり困惑した。その際の職員の態度にも不快を感じた。 ②誤嚥性肺炎を防ぐ対応について、不信を抱く対応がある。 ③過去の対応や職員の言動にも不信を抱くことがあった。 (要望として) ケアの統一と言動も含め統一した職員の対応(一貫した対応)と、連絡先の窓口を一本化。	ご家族の立場に立った、言動や説明がされておらず、結果困惑や不信を抱かせてしまった。またケアの対応も職員によって違いがあった。更に、現在のケアに対し、なぜそのような対応をしているかの説明がされていない状況があった。そして、ご家族に依頼する連絡方法に職員の認識違いがあり、対応もまちまちだった。 *家族の申し入れのとおり、過去にも職員の不手際や説明不足があった。	ご家族の申し入れのとおり、不信や困惑を抱くような職員の言動や説明不足があったことに対して謝罪する。またケアの徹底や連絡方法にも認識違いにより、結果徹底できていなかったことに対して合わせて謝罪する。 ケアの統一に向け、再度介護計画をご家族に説明。介護計画をスタッフで共通認識し徹底することを伝える。またご家族への連絡方法を再度明確にして、対応を徹底することとする。

編集後記

今年の夏も暑かったですね。毎年毎年異常と言っていますが、もうこれが普通の夏になっているのかもしれませんが、秋になり少しは過ごしやすくなったので、スポーツの秋や読書の秋を過ごしたいですが、私の場合は食欲の秋になってしまいそうです。皆さんはどんな秋を過ごされますか。

中田 智己

